

十全看護専門学校

令和3年度社会人入学試験（一次）

国語総合

令和2年11月30日実施

設問一文中の傍線①～⑮の漢字には、よみがなをつけ、カタカナは、漢字に直せ。

- ① きんいしゆくせいそくさくこうかしょう ② やくぶつ ③ 投与 ④ 衝撃 ⑤ 訴
⑥ 翻訳 ⑦ 訴訟 ⑧ しょくたく ⑨ 目障 ⑩ ふくしゅう
⑪ 肺炎 ⑫ 治療 ⑬ 致死量 ⑭ 権限 ⑮ 負

設問二「私はALSを2012年に発症してから、病気を受け入れるまで4年かかった」と書いているが、傍線Aは、その間の「気持ちの揺れ」を言っている。それがどのようなものであったのか、文中の言葉を使ってまとめよ。

診断を受けた当初、自分が無力で価値のないもの思えた。どんどん体が動かなくなるのは恐怖だし、人生に絶望する。傷つくことを言われ、復讐手段として死を考えたこともある。一方、「子どものために生きなければいけない」と思ったり、介護してくれているアルバイトの医学生や看護学生に対し、「この経験が将来役に立つだろうな」と、誰かの役に立てるといふ小さな喜びを感じたりと気持ちが揺れた。

設問三 傍線B「そのこと」のさす内容を文中から抜き出して書け。

大半の医師はこうしたALS患者の心の動きや生き方を知らない。医学部では病気のメカニズムしか教えないからだ。

設問四 傍線C「人間は強い時もある。弱い時もある。」とは、どういうことを言っているのか説明せよ。

「人間が強い時」とは「自分の理性に基づいて正しい判断ができること。「弱い時」とは、その理性が何かに阻害されて、正しい判断ができなくなる時があるということ。

設問五 傍線D「社会資源」とは何か。文中の言葉を抜き出して書け。

24時間ヘルパー、視線で入力できるパソコン

設問六 あなたから竹田 主子さんに一言 励ましの言葉をかけてください。

竹田さん！ あなたのさわやかな行動に乾杯！

設問七 次に書く四字熟語の（ ）に漢字一字を入れて熟語を完成せよ。また、その読みかたを右側に書け。

- (しめんそか) (しちてんぱつとう) (かんこんそうさい) (したさきさんずん) (いちごいちえ)
四面(楚)歌 七転八(倒) 冠(婚)葬祭 舌先(三)寸 一期一(会)
(しょうじゃひつめつ) (じゅんぷうまんばん) (しんしょうひつばつ) (じゆくどくがんみ) (うよきよくせつ)
生者(必)滅 順風満(帆) 信賞必(罰) 熟読(玩)味 紆余(曲)折
別解 七転八(起) (しちてんはつき)もあり。

一次の文章は、朝日新聞 2020年8月1日（土）の記事である。味読して、設問に答えよ。

難病の①筋萎縮性側索硬化症（ALS）の女性患者が医師に②薬物を③トウヨサレ、殺害されたとされる事件が、社会に④ショウゲキを与えている。8年前にALSを発症した医師の竹田主子（きみこ）さん（50）は、死を願った自身の経験を振り返り、患者への社会全体の支援を⑤ウツタえる。

たけだ・きみこ 信州大医学部卒業。東京大医学部付属病院などで勤務。12年にALSを発症し18年に人工呼吸器を着けた。現在カルテの⑥ホンヤクや法律事務所から医療⑦ソシヨウの相談などを受ける「東京メディカルラボ」代表。

「生きる」 心の叫び

ALS⑧囑託殺人 医師で患者の私は―

価値のないものに思え 死を考えた

私はALSを2012年に発症してから、病気を受け入れるまで4年かかった。診断を受けた当初、自分が無力で価値のないものに思えた。どんどん体が動かなくなるのは恐怖だし、人生に絶望する。私のせいで家族が今まで通り生活できないのも申し訳なく、生きていること自体が罪な気がし、泣き続けていた。

傷つくことを言われ、「そんなに⑨メザワリなら死んでやる」と半ば⑩復讐手段として死を考えた。⑪ハイエンになっても⑫チリヨウはいらない、そのまま死にます」と病院でカルテに書いてもらったりしたこと。医師による自殺の手助けが法律で認められていたら、選んでいたかもしれない。

誰かの役に立つ 小さな喜びに揺れた

一方、「子どものために生きなければいけない」と思ったり、アルバイトで介護をしてくれていた医学生や看護学生に対し、「この経験が将来役立つだろうな」と、誰かの役に立てるという小さな喜びを感じたりと A 気持ちが揺れた。前向きになるきっかけは、24時間ヘルパーを入れて家族に迷惑がからなくなったこと、視線で入力できるパソコンの導入で仕事や交友関係など世界が広がったこと。たくさんのママ友や医療チームにも支えられた。今の時代、ALS患者でも無限に活動的になれる。国内外を飛び回って活動する人、自ら介護事業所を立ち上げた人、子育てや孫育てをする人もいる。

でも、大半の医師はこうしたALS患者の心の動きや生き方を知らない。医学部では病気のメカニズムしか教えないからだ。B そのことが、医師が自殺を助けることの合法化に私が反対する大きな理由の一つだ。

「厳格な基準を定めたら、医者が自殺したい人に⑬チシリヨウの薬物を入れて殺してもいいのでは？」という意見が出ている。でも、「厳格な基準」とは一体何か。命を救うはずの医師に、人を殺す⑭ケンゲンを与えてよいのか。

C 人間は強い時もある、弱い時もある。もし患者が「死なせて」と発したら、なぜそう思うのか寄り添って耳を傾け、つらいことを解決する手段があれば全力でサポートしてほしい。様々な職種の協力やD 社会資源によって、医療で手に⑮オえないことも支援できると知ってほしい。

（構成・花房吾早子）

設問は解答用紙にあり。

十全看護専門学校

令和3年度社会人入学試験（二次）

国語総合

令和3年3月4日実施

次の文章は、朝日新聞 2020年2月21日（金）の記事である。味読して、解答用紙にある設問に答えよ。

一語一会 大学の先輩からの言葉

それは考えてねーじゃん。悩んでいるだけじゃん

解決策 見つけ出して進む 作家演出家 鴻上尚史さん

①あの言葉をかけてくれたのは、誰だったのだろう。

早稲田大3年、演劇に力を注いでいた頃だ。大隈講堂の東広場。たまたま一緒にいた先輩に「鴻上、これからどうするの？」と尋ねられた。

当時、自ら劇団を立ち上げようと考えていた。ただ、大学の劇団サークルがプロ化した前例はなく、食べていけるかどうか不安だった。そう打ち明けると、先輩は言った。

「それは考えてねーじゃん。悩んでいるだけじゃん。」

②悩むとは。漠然とした不安に流され、ぐるぐると同じ所を回っているだけの状態だ。それでは、人生は変わらない。

③考えるとは。具体的に検討することだ。劇団を立ち上げるなら、似た団体が存在していないか、何人の観客に入ってもらい必要があるのか。そのためにはどうすればいいのか。状況を一つ一つ整理し、するべきことを頭に浮かべる。

④目から鱗が落ちた。そうか、自分は悩んでいただけだったんだ。

その後、22歳で劇団を⑤はたあげ。①あの言葉を人生の⑥ししんに、演出家として⑦じっせきを積み上げてきた。俳優の演技に不満があつても、頭を⑧かかえるのではなく、解決策を考える。椅子に座って演技したらどうだろう。⑨いしょうを変えたらどうか…と検討する。⑩それが演出家の仕事だ。

相談を受ける側にもなった。俳優やスタッフの悩みにも寄り添い、今は朝日新聞出版のニュースサイトAERA dot・で読者の悩みに答える連載「ほがらか人生相談」も担当する。日本の同調圧力の強さや、その場を支配する「空気」との付き合い方について伝えている。

相談者の中には、かつての自分と同じように、悩むだけで考えていない人がいる。「悩むことと、考えることは、違うものだよ」。そう伝えると、きょんとする。若者ほどそうだ。考える⑪くんれんを受けてこなかったからだろう。

先輩の顔も名前も思いだせない。演劇サークルの先輩だと思いが記憶がない。⑫じつざいする人だったのか、夢でも見ていたんじゃないかとも思うけれど、⑬「教え」だけは自分の中にとどまっている。自分の言葉もそんなふうに関手に残って、悩みの解決へのヒントになればいい。

（岩井建樹）



「気合やガッツで乗り越えられないこともある。平静を保ち、考えるのが大人」＝外山俊樹撮影

1958年、愛媛県新居浜市生まれ。新居浜西高卒業。早稲田大学在学中に劇団「第三舞台」をはたあげ。現在は「KQKAMI@network」と「虚構の劇団」を中心に活動。著書に『不死身の特攻兵 軍神はなぜ上官に反抗したか』など、多数。

